

ふりがな 氏 名	はやし ゆりえ 林 由利江	職 名	助教
取得学位	修士(看護学)	学会での受賞歴	なし
主な担当科目	基礎看護技術演習Ⅰ 基礎看護技術、基礎看護技術演習Ⅱ 日常生活援助技術、 基礎看護技術演習Ⅲ 診療援助技術、フィジカルアセスメント、看護過程、看護学研究ゼミナール(卒論)、基礎看護学実習Ⅰ、基礎看護学実習Ⅱ		
所属学会	日本看護科学学会、ヒューマンケア研究学会		

◆ 教育業績

事 項	実 施 年月(日)	概 要
1. 教育方法の実践例		
1)理解を深めるためのパワーポイントによる資料作成と動画の作成・活用 「基礎看護技術演習Ⅱ 日常生活援助技術:清潔の援助」	令和元年 10月～11 月、令和2 年10月～ 11月	大学の学生を対象に「清潔」の単元のパワーポイントによる教材を作成した。授業資料を写真や図を取り入れるなど工夫し、また技術の習得のための演習ノートを作成・配布し、講義中に要点を書き込めるようにした。関連する看護技術の動画を作成し、学生が自己学習できるようにした。
2)理解を深めるためのパワーポイントによる資料作成と排泄の援助の動画の作成・活用 「基礎看護技術演習Ⅱ 日常生活援助技術:排泄の援助」	令和3年12 月～令和4 年12月	大学の学生を対象に「排泄」の単元のパワーポイントによる教材を作成した。授業資料は、写真や図を取り入れ、講義中に要点を書き込めるように事後学習の資料を作成し、学生の学習が進むように工夫した。また技術の習得のための演習ノートを作成・配布し、講義中に要点を書き込めるようにした。講義後に知識の習得のためのミニテストをGlexaにアップし、学生が自己学習できるようにした。
3)理解を深めるためのパワーポイントによる資料作成と「静脈血採血」の看護技術方法の動画作成・活用 「基礎看護技術演習Ⅲ 診療補助技術:検査・処置における援助技術」	令和2年7 月、令和3 年4月～5 月、	大学の学生を対象に「検査・処置における援助技術」の単元のパワーポイントを作成した。授業資料は、写真や図を取り入れ、講義中に要点を書き込めるように事後学習の資料を作成し、学生の学習が進むように工夫した。「静脈血採血」の演習では、単元担当者として技術習得に向けて動画作成と編集を行い、学内のオンライン教材にアップし、学生が繰り返し、いつでも視聴できるように工夫した。また、演習後に学生の学びが深められるように振り返りのための学習記録を作成した。
4)理解を深めるためのパワーポイントによる資料作成 「基礎看護技術演習Ⅰ 基礎看護着技術:ボディメカニクス」	令和3年4 月～令和4 年4月	大学の学生を対象に「ボディメカニクス」の単元のパワーポイントを作成した。授業資料は、写真や図を取り入れ、講義中に要点を書き込めるように工夫した。また、講義後にボディメカニクスの実践を通しての気づきを深められるための課題を作成した。

事 項	実 施 年月(日)	概 要
5)「陰部洗浄・おむつ交換」の看護技術方法の動画作成 「基礎看護技術演習Ⅱ 日常生活援助技術:排泄の援助」	令和2年12月～令和3年1月、令和4年12月～令和5年1月	大学の学生を対象に基礎看護技術である「陰部洗浄・おむつ交換」の技術習得に向けて動画作成を行い、学内のオンライン教材にアップし、学生が繰り返し、いつでも視聴できるように工夫した。陰部洗浄の方法について、臨地で多く活用されているおむつを用いた方法での動画を作成し、演習での視聴を促すと共に、基礎看護学実習Ⅱに向けての事前学習の際に、実際の場面で活用できるように視聴をさせた。
6)基礎ゼミナール	令和元年9月～令和2年1月 令和3年9月～令和4年1月	大学1年生を7名担当し、テーマ決定から発表までについて看護学科と健康栄養学科の両学科の特徴を踏まえて考えていけるよう助言をしながら学生が主体的に進めていくよう指導を行った。 大学の学生を8名担当し、テーマ決定から発表までについて両学科の特徴を踏まえたテーマとし、学生が学びを深めていけるように段階を踏まえながら、文献検索、グループディスカッション等の指導を行った。
7)看護学研究ゼミナール(卒論)	令和4年4月～令和4年10月	ゼミナールを通じて小人数のグループの中で討議し、先行研究の理解にもとづきながら研究目的を明確にし、研究計画書を作成、それに基づき、文献検索を行い、論文を作成し発表するという一連の過程について学生を担当し、指導を行った。また、看護研究の発表について、基礎看護学分野の向けの資料作成及び講義を実施し、発表が円滑に進むように指導を行った。
8)名女健康サロン	平成31年6月、7月、令和4年10月	地域貢献の一環としての健康サロンに関わった。「頭の体操で認知症予防」においては、頭と身体を動かすエクソサイズを高齢者に指導したり、瑞穂区東部いきいき支援センター職員による「認知症サポーター養成講座」に出席した。また、各種健康測定では、測定器を用いて、高齢者の歩行状況をについて、高齢者に示し、自己の歩行について、健康認識を持って頂くように関わった。さらに、出席した学生が高齢者に関われるよう指導にあたった。
9)基礎看護学実習Ⅰ	令和元年7～8月～令和4年7～8月	大学1年生を対象とした実習担当者として、実習要項の作成に関わった。また、学生の実習指導を担当し、実習が円滑に進むように病院実習とともに学内実習においても指導を行った。また、実習要項や資料作成、実習オリエンテーションにおいての準備を行った。担当する実習病院との会議の開催や実習中の報告等の対応を行った。
10)基礎看護学実習Ⅱ	令和2年2月～3月～令和5年2月～3月	大学2年生を対象とした学生の実習指導を担当し、実習が円滑に進むように学内で技術トレーニング及び病院実習での指導を行った。実習が円滑に進むように病院実習とともに学内実習においても指導を行った。

事 項	実 施 年月(日)	概 要
11) 学年アドバイザー	令和2年4月～令和5年3月	学年アドバイザーとして、学生の生活や健康、履修登録・成績等について指導・面接を行い、学生生活の支援を行った。模擬試験後の面接や学習の方法や相談などの学習支援を行った。必要時、学生の両親との面談を行い、学生生活が円滑に進むように関わった。
12) 国家試験対策検討会	令和3年4月～令和5年3月	大学の学生を対象に国家試験対策を中心に検討し、主に3年生の学生に対する勉強の方法に関する学習支援を行った。令和4年度においては、主として国家試験担当として、看護師国家試験に向けての模擬試験の日程や当日の準備、試験後の夏季休暇中の補習学習を担当し、学習方法や得点力アップにつながるように指導を行なった。4年生の看護師国家試験対策においては、集中講座が円滑に進準備から当日の講座まで関わった。

◆ 研究業績

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
学会発表	医療事故防止のためのマニュアル 整備に関する要因～役割別から 見た認識の検討～(口演)	共	平成30年 12月	日本看護科学学会 第38回日本看護科学学 会学術集会 (ひめぎんホール)	林由利江・山内豊明 第38回日本看護科学学会学術 集会講演集 129-130 2018
	医療事故防止のためのマニュアル 整備に関する要因～病院規模から 見た認識の検討～(口演)	共	令和元年 12月	日本看護科学学会 第39回日本看護科学学 会学術集会 (石川県立音楽堂)	林由利江・山内豊明 第39回日本看護科学学会学術 集会 454-455 2019
	テキストマイニングによる看護学生 の講義前、演習前、演習後の無菌 操作 DVD 視聴中の語りの分析	共	令和2年 12月	日本看護科学学会 第40回日本看護科学学 会学術集会 (Web開催)	増田 富美子・岸 あゆみ・春藤 友香・林由利江・竹田 千佐子 第40回日本看護科学学会学術 集会、109 プログラム集 2020
	看護学生の未学習技術における 視聴覚教材を観る力 ー 講義前の動画視聴に焦点をあ ててー	共	令和2年 12月	日本看護科学学会 第40回日本看護科学学 会学術集会 (Web開催)	岸 あゆみ・増田 富美子・林由 利江・春藤 友香 第40回日本看護科学学会学術 集会プログラム集、117 2020